

8福薬業発第164号
令和8年7月8日

各地区薬剤師会 会長 殿

公益社団法人福岡県薬剤師会
常務理事 窪田 敏夫

**薬局向け研修会「腎機能を活かした薬学的管理 実践セミナー」
のご案内について（周知依頼）**

平素より、本会業務に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、一般社団法人日本腎臓病薬物療法学会が主催し、公益社団法人日本薬剤師会が共催する標記研修会について、会員への周知依頼がありましたのでお知らせいたします。

本研修会は、CKD や腎機能評価にまだ十分取り組めていない薬局薬剤師を主な対象として、基礎から実践的な処方監査・トレーシングレポート活用まで網羅した、実務に直結する内容で構成されています。

つきましては、ご多用のところ恐縮ですが、貴会会員へご周知くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 研修会名

薬局向け研修会「腎機能を活かした薬学的管理 実践セミナー」

2. 開催日時

令和8年8月6日（木）19時30分～21時05分

3. 開催形式

Zoom ウェビナーによるオンライン配信

4. 参加費

無料

5. 申込方法

別添の案内チラシに記載の申込 URL から、各自お申し込みください。

以 上

日 薬 業 発 第 148 号
令 和 8 年 7 月 7 日

都道府県薬剤師会担当役員殿

日 本 薬 剤 師 会
副会長 渡邊 大記

薬局向け研修会「腎機能を活かした薬学的管理 実践セミナー」のご案内について

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます

さて、日本腎臓病薬物療法学会の薬局向け研修会において、標記のセミナーが本会共催で開催されますのでお知らせいたします。

近年、保険薬局における腎機能評価の重要性は高まっており、本研修会では、CKDや腎機能評価にまだ取り組んでいない薬局薬剤師を主な対象とし、基礎から実践的な処方監査・トレーシングレポート活用まで網羅した内容で構成されています。

本研修会の開催概要等につきましては別添にて詳細をご確認ください。

会務ご多用のところ恐縮ですが、貴会会員にご周知下さいますようお願い申し上げます。

(別添)

- ・薬局向け研修会「腎機能を活かした薬学的管理 実践セミナー」の共催および周知協力をお願い（一般社団法人日本腎臓病薬物療法学会 理事長 竹内 裕紀）

令和8年7月2日

公益社団法人日本薬剤師会 御中

一般社団法人日本腎臓病薬物療法学会

理事長 竹内 裕紀



薬局向け研修会「腎機能を活かした薬学的管理 実践セミナー」の 共催および周知協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本学会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本学会では、薬局薬剤師を対象とした研修会「腎機能を活かした薬学的管理 実践セミナー」を、下記のとおり開催することとなりました。

令和8年度調剤報酬改定において「重複投薬・相互作用等防止加算」が「薬学的有害事象等防止加算」へ改称され、腎機能に応じた投与量調節は同加算の代表的な算定事例の一つとして、保険薬局における実践の重要性が一層高まっております。本研修会では、CKDや腎機能評価にまだ取り組んでいない薬局薬剤師を主な対象として、基礎から処方監査、トレーシングレポートの活用まで、実務に直結する内容を取り上げます。

つきましては、本研修会の趣旨にご賛同いただき、貴会に共催いただくとともに、都道府県薬剤師会等を通じた会員への周知につきまして、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

研修会名	薬局向け研修会「腎機能を活かした薬学的管理 実践セミナー」
主催	日本腎臓病薬物療法学会 薬局参画推進委員会/地域連絡協議会支援委員会
共催	日本薬剤師会
開催日時	2026年8月6日(木) 19:30~21:05
開催形式	Zoom ウェビナー (オンライン配信)
参加費	無料
対象	薬局薬剤師 (CKD・腎機能評価の初学者の方を特に歓迎)
研修単位	日本薬剤師研修センター (JPALS) 単位 申請予定 日本腎臓病薬物療法学会 研修単位 申請予定

以上

薬局向け研修会 ご案内

腎機能を活かした薬学的管理 実践セミナー

主催：日本腎臓病薬物療法学会（日腎薬） 薬局参画推進委員会 / 地域連絡協議会支援委員会

共催：日本薬剤師会

開催日時	2026年8月6日（木） 19:30～21:05
開催形式	Zoom ウェビナー（オンライン配信） ※定員 500名
参加費	無料
研修単位	日本薬剤師研修センター（JPALS）単位 申請予定 日本腎臓病薬物療法学会 研修単位 申請予定
対象	薬局薬剤師（CKD・腎機能評価の初学者の方を特に歓迎いたします）

開催趣旨

令和8年度調剤報酬改定において、「重複投薬・相互作用等防止加算」が「薬学的有害事象等防止加算」へ改称されました。腎機能に応じた投与量調節は同加算の最も代表的な算定事例であり、保険薬局における腎機能評価の重要性はますます高まっています。

本研修会は、CKDや腎機能評価にまだ取り組んでいない薬局薬剤師の方々を主な対象とし、基礎から実践的な処方監査・トレーシングレポート活用まで網羅した内容で構成しました。ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております。

プログラム

時間	担当	演題
19:30（約3分）	八重 徹司 先生 （鈴鹿医療科学大学）	【開会挨拶・趣旨説明】
19:35～20:10 （35分）	近藤 悠希 先生 （熊本大学）	なぜ薬局薬剤師が腎機能を考慮する必要があるのか？ －薬局における現状と課題－（仮）
20:10～20:40 （30分）	井上 彰夫 先生 （鹿児島県薬剤師会 薬事情報センター）	薬局での実践につなげる腎機能を考慮した処方監査のキホン
20:40～21:05 （25分）	大東 真理子 先生 （メディカプラン京都 すこやか薬局）	腎機能を考慮した処方監査の実践－検査値がわかる時・ わからない時に薬局薬剤師ができること－

参加申込

申込 URL：https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_BVDr5I-R0uFLYUcZUo-OA

定員に達し次第、受付を終了いたします。お早めにお申し込みください。

お問い合わせ



日本腎臓病薬物療法学会 薬局参画推進委員会

担当：添石 遼平（八王子薬剤センター） [E-mail : ryohei-soeishi@pharma802.com01](mailto:ryohei-soeishi@pharma802.com01)